

いちのせき

広報

平成20年 10.15 No.74

主な内容

- 知事要望
..... P 2~3
- 市議会9月定例会
..... P 4
- 暮らしの情報
..... P 8~11



演奏する機会
鑑賞する機会
地方の音楽文化底上げに

音楽イベントの
企画運営を手がける

及川一郎さん

商店経営。自宅の蔵を改装した「角蔵ホール」でのライブをはじめ、千厩を中心に音楽イベントを企画。千厩町奥玉。50歳



せんまや夜市の恒例となった「投げ銭ライブ」。9月13日、千厩まちの駅J a J a馬プラザ前で
行われた「J a J a馬ミュージックフェスティ
バル」(同実行委員会・協同組合千厩新町振興会
主催)には県内外のアマチュア12グループとゲ
スト3グループが出演。ロック、アコースティッ
クなどさまざまなジャンルのサウンドが、集ま
った音楽ファンを魅了しました。

「アマチュアにはお客さんの前で演奏する機
会を、お客さんには地元バンドとプロの音を楽
しんでほしかった」とイベントを企画した及川
一郎さん。「出演者からは『気持ち良いライブだ
った』『また千厩で演奏したい』と反響が大きか
った」と語ります。

さまざまな音楽に触れて育ち、仕事の傍らバ
ンドで演奏するなど音楽を楽しんできた及川さ
ん。転機は4年前。娘さんがバンドの練習を始め
たのを機に、叔父の故勇一さんの夢「自宅の蔵で
ライブハウス」を実現させました。現在は手作り
の音響を備えた「角蔵ホール」をはじめ、千厩酒
の蔵交流施設でのライブなども企画しています。

「小さな会場で飲んだり話したりしながら聞
けるライブは、演奏者も聴く側もリラックスし
て楽しめる。回数を積み重ねることで、地方の音
楽文化の底上げにもつながるはず」。商店街に若
者を呼ぶきっかけとしても期待されています。